



5月8日(金)開催の三越伊勢丹支部大会において、 2026年6月支給賞与(案)について可決されました。

- ・2026年6月支給賞与(案)に関するメンバーズVOICEを、4月30日(金)より動画を中心に実施し、2026年5月8日(金)、新宿H&Iビル組合事務所共用会議室にて、三越伊勢丹支部大会を開催しました。
- ・大会ではメンバーズVOICEで寄せられたご意見、大会代議員からのご意見・ご質問を踏まえながら、以下の議案について審議を行い、満場一致で可決されました。

第一号議案

社員・メイト社員・特別社員・エルダースタッフ
 2026年6月支給賞与における要求について
 および2026年度業績評価指標について

※議案の内容については、QRコードにアクセスし、議案書とその説明動画にてご確認ください。



<https://members.imgu.or.jp/ba010/49180>

メンバーズボイスの出席状況

出席率 91.7 %

Formsご意見数 84 件

| | 参加者 | 対象者 | 出席率 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 新宿 | 1,085 | 1,259 | 93.9% |
| 日本橋 | 672 | 760 | 92.6% |
| 本社周辺 | 1,166 | 1,355 | 89.8% |
| 外商統括 | 610 | 738 | 87.5% |
| 銀座 | 384 | 416 | 96.2% |
| 浦和 | 190 | 220 | 90.9% |
| 立川 | 161 | 174 | 94.8% |
| 全分会合計 | 4,268 | 4,922 | 91.7% |

メンバーズVOICEへのご視聴・ご参加ならびに様々なご意見をいただきありがとうございました。

ご意見・ご質問(2026年6月 支給賞与における要求について)

- 業績加算賞与制度が策定されたのちに実際に運用されること、また前年を上回る要求を実施していただけることは大変嬉しく思います。
- 時間外を削減し、メンバー全員で達成した、加算支給ヶ月で納得しています。ぜひ交渉では、満額回答を得られるようよろしくお願いいたします。
- 会社全体として人員の削減・担当領域増という過酷な傾向にある現状の中で、給与増と休暇増は非常に大きなモチベーションと離職防止に繋がると思います。
- どのステージも+0.48か月加算されるとのことはとてもありがたいと思えました。
- 業績をそのまま社員の賞与等に反映していただく方向性はとても喜ばしいとは思いますが、その余剰を催事応援を減少させるための人件費などに使用していただくというような社員への還元方法を検討していただけるとより、前向きに業務にあたれると思えました。
- 今後の社会情勢などにもよると思いますが、仮に支給額が上がったとしても、社会保険料など控除額の上り幅が大きいと、結局手取額が前年より少なくなる等の場合も出てくると思いますので、そういった部分も含め支給額の検討もお願いしたい。
- 業績加算要求の交渉に有り難さはあるものの、コロナ禍の減額幅との比較や物価上昇等を考慮すると過去最高益にも関わらず従業員への還元を弱く感じます。
- 業績と賞与支給は表裏一体なので、業績から逆算した要求になることは理解、納得していますが、「原資」ありきではなく「目指すべき額」からアプローチしてほしいです。

支部大会での採決



みなさま、本日はGWを挟んだお忙しい中、支部大会へご出席いただき、誠にありがとうございます。

今回審議しました議案、「2026年6月支給賞与」については、5月11日の労使協議会にて会社へ要求を行ってまいります。大会終了にあたり、少々コメントさせていただきます。



<川原林支部執行委員長>

今回の賞与要求については、制度通りの要求に加え、一律0.48カ月分の加算要求を行いました。今年度より「業績加算賞与制度」が導入されたことから、その加算基準の目安を基に加算有無を検討し、2025年度業績見込みを踏まえて加算水準を決定してきました。業績発表前での要求であるため、水準判断が難しい部分もありましたが、概ねご納得をいただける内容になったと受け止めています。

ここまでに至るまで、執行委員会・評議員会・職場委員会での熱心な議論、そしてメンバーズVOICEへの参加促進にご尽力いただき、本当にありがとうございました。今回のメンバーズVOICEでは、多くの皆さまに参加をしていただき、9割を超える参加率となりました。ご意見としては物価高騰などを背景に給与面へのご意見もありましたが、今回の賞与要求に対しては、多くのメンバーから概ねご理解の声をいただけたと認識しています。

振り返ると、前年度は第2四半期時点で三越伊勢丹単体の営業利益が下方修正されるなど、現場としても厳しさを実感する状況だったと思います。しかし、そのような中でも、みなさまの日々の大きな努力によって下期以降は日々の商売の積み重ねや経費コントロール等の努力で業績を盛り返し、現時点の業績状況では前年・修正予算に近づいている状況にまで至っていると捉えています。

このような業績状況を踏まえながら、組合としても昨年を上回る加算要求ができたことは、今後の中期経営計画をさらに前へ進めていくうえでも、メンバーにとって大きなモチベーションにつながる要求になると考えています。会社の業績向上とそのステップアップを実感できる要求を検討できたことも現場メンバー一丸となって取り組んできた結果だと思えます。改めて、皆さまに感謝申し上げたいと思います。

5月11日の労使協議会では、こうした現場メンバーの努力、そして今回メンバーズVOICEでいただいた声とともに、会社へ要求を行っていきたいと思います。

今年度以降も中長期的な会社戦略に基づく人事賃金制度の在り方や、今後の業績加算の仕組みをはじめとする従業員への還元について具体的な協議を進めていきますので、引き続き組合活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

労使協議会において組合より三越伊勢丹支部大会での可決内容の報告と、メンバーの声を会社側にお伝えしました。また、具体的な賞与要求を伝えた上で、会社より考え方と回答を頂きました。

5月11日(月)午前11時より労使協議会が開催されました。はじめに組合側より、メンバーズVOICEでの声の共有と5月8日(金)三越伊勢丹支部大会において今回の議案について満場一致で可決されたことを会社側に伝えました。

また、2026年6月支給賞与要求にあたっての考え方が組合側より述べられた後、川原林支部執行委員長より具体的な賞与要求がおこなわれました。その後、組合要求を受けて人事の考え方を嘉納人事部長より説明があり、あわせて細谷代表取締役社長より回答を頂きました。

今回の組合要求を受けて人事の考え方～嘉納人事部長～

賞与交渉におきましては、25年度より導入された「業績加算制度」に則り、予算の達成度も加味しながら協議を重ねてまいりました。

業績については、従業員の皆さま全員が高い意識のもと、業務遂行に努めていただいた結果であり、今回の要求はその成果に見合った賞与水準であり、これまで労働組合の皆さまと会社とで協議してきた考え方と相違ないと認識しております。

また、業績加算賞与制度は、従業員の皆さまのやりがいや高い納得性につながることも考えておりますので、次年度においても引き続き丁寧に協議をしていければと考えております。



<嘉納人事部長>



会社より即日、合意の旨回答がありました。

労使協議会終了にあたり、コメントさせていただきます。

昨年に引き続き、今年度の6月賞与においても、業績評価指標を踏まえ、半期要求として制度通りの支給に加え、加算要求を行いました。加算水準については、本年度より導入された「業績加算賞与」の計算式を一定の目安としながら、加算の有無や水準について検討を進めてまいりました。ここ数年、賞与加算が継続して実現できていることは、言うまでもなく、日々現場で奮闘しているメンバー一人ひとりの努力の結果であります。



<川原林支部執行委員長>

特に昨年度、25年度前半は、現場としても非常に厳しい状況を実感していました。しかし、下期以降は売上也徐々に持ち直し、その成果を、今年度も「賞与加算」という形で昨年を上回る水準でメンバーへ還元できることは、今後の会社戦略を前に進めていく上でも、大きな原動力となる非常に重要な要求であると考えています。

今回の要求内容については、水準や考え方について多くのメンバーから一定の理解・賛同の声を得ることができています。

一方で、昨年もお伝えしましたが、今後の報酬をはじめとする従業員への還元について、さまざまな意見も寄せられています。それは本給・賞与に限らず、福利厚生施設や働く環境など、多岐にわたる内容です。今後、中期経営計画に基づく人事戦略を踏まえながら、この3年間の時限的な制度である業績加算賞与制度をはじめとした人事賃金制度や報酬の在り方等々は優先順位を持ちながら、今後本格的に労使で協議を行っていければと思います。

最後に、今年度の労使通年協議も本格的にスタートしていきますが、最近の組合活動やメンバーの声を通じて改めて大切だと実感しているのは、「理解・納得」が大きな行動を生み出す力になるということです。ここ数年、経営の皆さまが自らメンバーと対話する機会を数多く設けてくださっています。このような対話を通じ、会社の方針が、自分自身の仕事とどのようにつながっているのかを理解し、納得した上で取り組めることは、非常に重要だと感じています。「理解・納得」ができればそこに自分の考えやアイデアを入れて仕事を進めることができ、それが個々のやりがいに繋がることに加え、その積み重ねが業績結果につながり、今回のような成果や報酬という形でメンバーへ還元される。そして、その還元が次の取り組みへの原動力になる。そうした好循環をつくっていくことで生産性やエンゲージメントが向上し、会社のさらなる成長・発展につながっていくのだと考えています。

その中で、組合が果たす役割も決して小さくないと考えています。働きやすい人事制度を構築していくこと。働きやすい環境を整えていくこと。そして、会社が進む方向性と従業員をつなぎ、導いていくこと等多くあると思っています。今後もメンバーの声を丁寧に聞き、時には背中を押しながら、企業内組合としての役割を果たしていきたいと考えています。

また、労使においても、信頼関係を継続しながらコミュニケーションを重ね、より良い労使協議を進めていければと思います。今年度も何卒よろしくお願いいたします。

同業の中でも、ほぼ唯一と言っていいほど素晴らしい業績でした。その結果が今回の賞与要求にも反映されており、その要求に対し、会社が即日で合意できることは双方にとって納得性の高い成果の表れでもあると感じています。

これは、会社の戦略を理解していただいた従業員一人ひとりが、しっかり意識をもって業務に取り組んでいただいた結果が現れたものだと考えています。

こうした積上げにより、成果を大きくしていくことで、報酬があがっていくような状態を目指していきたいと考えています。

そのためには、一人ひとりが会社の戦略を理解して納得したうえで、イノベーションを起こす意識を持つことが非常に重要です。

各々がアイデアを積極的に出して日々の業務に取り組んでいくことで私たちの想定以上に大きな力が発揮され、成果につながると考えています。

ぜひ今後も力を合わせて取り組んでいきましょう。

本日は本当にありがとうございました。



<細谷代表取締役社長>



メンバーズVOICEにて

様々なご意見をいただきありがとうございました。

皆さまの組合活動へのご理解とご協力を

今後とも引き続きよろしく願いいたします。